

なかえちいせきぐん

中依知遺跡群(第2次)

(厚木市No.33・94・156・157・158)

調査期間
20100701～20110228
20110701～20110715
20111101～20120131

所在地
厚木市中依知

時代
縄文
古墳
奈良・平安
中・近世



作成日:20120502

概要

今回の調査は、平成13年7月～平成15年12月まで発掘調査が実施され、平成19年3月に報告書が刊行された中依知遺跡群の残地部分の調査です。本調査では、調査区東側のA3区やA7区から中世の地下式坑と呼ばれる遺構が発見されました。最東端に位置するA7区では、深さ約3mの縦坑を持つ大形の地下式坑が発見され、地下室の床面直上からは、底部に穴の空いた碗形の銅製品が発見されました。調査区西側のD6区では、崖面に第1次調査で発見された横穴墓の続きが確認され、横穴墓の規模がより明確に捉えられました。



▲ A7区 地下式坑



▲ 横穴墓群